

# 文化の丘

令和4年 9月号  
(ISSN 1345-2282)

No.372

- 1 大河ドラマの世界へ GO!!  
「舞台」をめぐる
- 2 「鼓動」に触れる  
「歴史」を知る
- 3 「しずおかの昔」を調べるなら
- 4 静岡県の図書館 Snap Shot!

特集 歴史文化情報センターの非来館型サービスから

## 大河ドラマの世界へ GO!! 歴史資料の活用

今、大河ドラマが人気です。大河ドラマには静岡県ゆかりの歴史上の人物がたびたび登場します。その人にゆかりのある所へ行ってみたいくなりませんか？よく人気漫画や映画の「聖地巡礼」という言葉を聞きますが、実際にその人たちが生きた場所に行くと、当時の人々の息遣いを感じることができます。歴史文化情報センター（通称“歴文”）は、そんな旅のお手伝いもできます。周辺のグルメ情報は提供できませんが（笑）、歴史と文化にこだわった情報が満載です。

今回は歴文のWebサイトにある資料を使って、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の舞台になったところを調べてみましょう。

### 「舞台」をめぐる

### その1 「伊豆歴史散歩」

まず「伊豆歴史散歩」を紹介します。県史編さん時に集められた資料の中から伊豆に特化したものを「東伊豆編」「南伊豆・西伊豆編」「中伊豆・北伊豆編」と分けて提供しています。源頼朝が配流されたと言われる蛭ヶ島（蛭ヶ小島）、北条政子ゆかりの伊豆山神社、奥州藤原氏討伐の成功を祈願して北条時政によって建立された願成就院、源頼家の冥福を祈って政子が造営したとされる指月殿などなど…。ドラマを見ていた方はそのシーンが脳裏に浮かぶのではないのでしょうか？ 関連施設へのリンクもありますので、更に詳しい説明を見ることもできます。



伊豆歴史散歩

### 「伊豆 歴史散歩」 ～中伊豆・北伊豆編～

静岡県  
歴史文

源頼朝配流の地「遺跡蛭ヶ小島と夫婦像」 歴史文化情報センター資料

- 永享元年(1190)年、平治の亂に敗れた頼朝は、伊豆の蛭ヶ小島(ひるがこじま)に流罪となりました(左図)。頼朝はこの地で先祖の菩提を弔い、一生を終えるはずでしたが、20年余の配流生活の中、在地の豪族と親交を深めていきます。
- 頼朝は平家方の監視役であった伊東祐親の嫡人重頼との間に千鶴丸をもうけて祐親の怒りを買ひ、その後も平家方の北条時政の嫡政子と結ばれています。その際、北条政子は父の勤めらる山木兼隆との嫁礼の夜、熱海の伊豆山神社へ逃げたお話を「伊豆歴史散歩 東伊豆編」で案内したとおりです。
- 現在蛭ヶ小島は公園となり、右図のように頼朝と政子の像「蛭ヶ島の夫婦(ふたり)」が富士山を仰いで立っています。頼朝の血脈は三代で滅びますが、頼朝ごときあは政子が尼持家として君臨し、北条氏が幕府政治を担っています。
- 「蛭ヶ小島」リンク先: 静岡県総合教育センターホームページ

伊豆最古の木造建築「指月殿」と「頼家の墓」 歴史文化情報センター資料

となった源頼朝は、幼少から才気活発で弓馬に長じ、富士野の巻狩りでも、アタはどの御前でした。父頼朝の死後、頼朝は頼朝遺族を試みますが、鎌倉の幕府は合衆制とし、頼朝と北条氏との関係も次第に悪化していきます。

2033年、頼朝は病氣療養を口実に修善寺に幽閉されます。その翌年、源交泰時政の謀略により、修善寺門前の虎岡塚にあった墓園で埋葬されました。1と1いう新さでした。

と兼政子は頼朝の冥福を祈り、「指月殿(しげつきでん)」(左図)を造営しました。そこに指し導くもの、つまり経典のことで、「指月殿」とは経典のことです。政子(右図)のそばに経蔵(寺)を建て、「宗廟大藏経」を納めたと伝えられます。面大きな伊東将は天禄16(1703)年、頼朝没後五百回忌の期に寄進された。その後ろの左側に小さく見える五輪塔が、頼朝の墓と伝えられます。

リンク先: 静岡県の文化遺産データベースホームページ

頼朝の監視役「伝 伊東祐親(すけちか)墓」 歴史文化情報センター資料



伊東祐親は、伊東・河津に領地を持つ平家方の武将です。平安時代末期伊豆に流罪となった源頼朝の監視役となりました。

京都大番役(朝廷の警備)で領地の伊東から離れている間、娘の八重姫が頼朝との間に千鶴丸(せんづるまる)を産みました。祐親は平家の怒りを恐れ、千鶴丸を松川の瀬に沈めて殺してしまい、頼朝と八重姫の恋は終わりを告げます。

頼朝が平家打倒の兵を挙げると、大庭景親(かげちか)とともに平家方として戦い、石橋山の戦いでは頼朝軍を敗走させます。その後、富士川の戦い直前に源氏方に捕えられ、2年後に娘婿の三浦義隆(よしつみ)の邸内で自害しました。現在、伊東市役所近郊の鶴見塚公園に騎馬武者姿の祐親銅像があります。

⑤ 伝 伊東祐親の墓所 リンク先: [「伊東祐親の墓所」](#)

## 「伊豆 歴史散歩」 ～東伊豆編～

静岡県立中央図書館  
歴史文化情報センター

源頼朝 北条政子ゆかりの「伊豆山神社」 歴史文化情報センター資料



伊豆山は、伊豆の国号発祥の地(鍋出=かひいづ)と言われ、走るが如き道敷が湧き出し、海に注いでいたので走湯山(そうとうざん)とも呼ばれていました。

修験道(しゆげんどう)の祖、役(えん)の小角(おづぬ)が伊豆へ渡され、ここで修業してから神仏習合の伊豆山権現として信仰が広まりました。

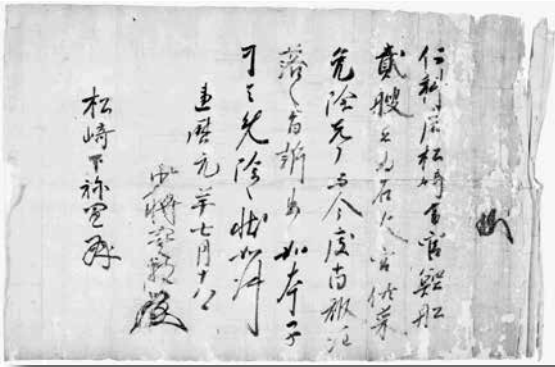
平安時代末、北条政子が平家方の山木兼隆(かねたか)と婚約の夜、伊豆山にいる源頼朝のもとに走ったというロマンスは広く知られており、二人の縁を結んだ事でも知られています。

境内にナギの木があり、葉脈が並行して切れにくいことから、男女の縁につながり、葉の裏に想う相手の名を書いて夜に結ぶと、恋が遂げられるという言い伝えが残っています。現在でも縁結びの神様として人気を誇ります。

⑥ リンク先: [伊豆山神社ホームページ](#)

## 「鼓動」に触れる

## その2 「くずし字解読講座」



松崎下宮經船免許状 伊那下神社所蔵

「読んでみたいけど…」と思った方にぜひ見ていただきたいのが「くずし字解読講座」です。

この「くずし字解読講座」は入門編、中級編、上級編の全 50 回から構成されています。全く初めての方でも、入門編からじっくり始めていただければ、きっと読めるようになります。

当時の人々が実際に書き、生活の中で使用していた文書を読むと、当時の人々の鼓動に触れることができるはずです。

当時の舞台をめぐったら、次は当時の人々の鼓動に触れてみませんか？

左の文書は、北条時政が建暦元(1211)年7月18日に伊豆国仁科荘松崎下宮の經船二艘の課役(税負担)を免除し、石火宮供菜料(祭神への供え物)に充てる事を示したものです。時の将軍「実朝」の文字と実権者時政の花押があります。どれかわかりますか？

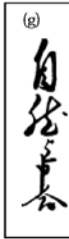


くずし字解読講座

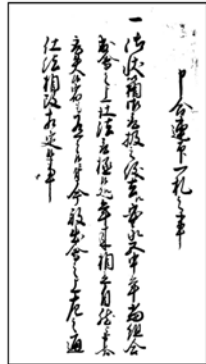
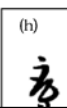
### くずし字解読講座 24

#### 有之、無之 (これあり、これなし)

前回の続きです。(g)は最初の自は「自」です。次の然は大きく崩れていますが、「然」「被」にも見えるかもしれませんが、「被」の場合は、もっと小さく書かれます。然はよく出てくる崩しですので、ここで覚えておいた方がいいと思います。次の与は「与」という字が少し中心をずらして書いてあります。これは「与」と書いて「と」と読みます。次は「申」で、次の合は「合」なので、(g)は「自然」と申合」となります。



(h)は最初の取は、前回出てきた「取」です。前回(取)よりも崩しがきつくなっていますが、字の雰囲気をつかんでいれば読めるでしょう。次は



## 「歴史」を知る

## その3 「資料に学ぶ静岡県の歴史」

もっと専門的な内容を知りたい方は、「資料に学ぶ静岡県の歴史」をご覧ください。この「資料に学ぶ静岡県の歴史」の原稿は、県内の中学校・高等学校の教員が、『静岡県史』や県史編さん事業で収集した資料などをもとに執筆しています。その際、授業での活用をめざし、資料紹介や郷土史の叙述にとどまらず、日本史のなかでの位置づけを特に意識して記述をしています。

歴史の授業での活用を目的に作成されたものですが、一般の方が見ても十分に楽しめる資料となっています。



資料に学ぶ  
静岡県の歴史

## 15 曾我兄弟仇討ち事件の謎

～事件の政治的背景～

### 1 事件の概要

〈史料1〉は1193(建久4)年5月28日に起きた曾我兄弟の仇討ちである。伊豆国の豪族伊東祐親の孫である。伊豆国の豪族伊東祐親の孫討つため、同族で源頼朝の寵臣であり、頼朝が主催した富士裾野である。しかし、兄祐成は北条時頼朝の宿所をめざしたが捕らえられ、仇討ちの原因は伊東祐親と工藤祐津津(津)の支配権争いで、兄弟の父の死後、母が相模国曾我荘(神奈川県)の支那で、幼い兄弟は曾我を名乗ることとした。しかし、この事件は単なる私的な要因が潜んでいたようである。それ「表鏡」では祐経以外に10人の御家人兄弟が失脚・殺害されたこと、③出家したこと、④常陸国武土団の肅正、などの出来事からの事実を根拠にして、仇討ち事件の背後に隠された政治にそれらを紹介する。

### 2 背景にある政治的陰謀

#### (1) 北条時政による源頼朝暗殺計画説

祐経を討ち取った兄弟はさらに頼朝の宿所に向かった。朝も一時は太刀を取って向かおうとしたほどであった。そこでこの事件は、頼朝挙兵に大きな功績を残しながら、兄弟をそのかきして頼朝を殺さした事件である。

(史料1)  
廿八日、癸巳、小雨降、日中以後寒、子規、故伊東次郎祐親法師孫子、曾我十郎祐成、同五郎時致、致し推し参り富士野(神野御旅館)、殺し工藤左衛門尉祐津、(後略)  
(静岡県史)資料編5中世1 234頁

## 17 傀儡の訴訟

～鎌倉幕府の訴訟制度～

### 1 訴訟制度の変遷

鎌倉幕府の訴訟制度の整備は、1184(元暦元年)年に源頼朝が問注所を設置したことに始まる。問注所は、訴訟において当事者を召喚して口頭弁論させ、その内容を鎌倉殿(将軍)に報告し、判決は鎌倉殿の親裁で下された。

源氏将軍が廃絶となり、北条氏を中心とした執権・連署・評定衆の合議制により幕府政治が運営されるようになると、訴訟制度も変化する。御家人を当事者とする訴訟と、諸国の雑人(侍身分ではない者で凡下・甲乙人とも称される)・非御家人を当事者とする訴訟は問注所が、鎌倉市中の雑人と非御家人を当事者とする訴訟は政所が管轄することとなった。政所・問注所には、それぞれ問注奉行人が配属されて、訴状など書面の審理と当事者の尋問などを担当した。その結果は評定衆の会議に上げられて判決が確定された。

1249(建長元年)年、裁判の迅速化をはかるため引付が新設された。引付は三番編成(後に五番編成となる)で、各番は1人の頭人(責任者)と4～5人の評定衆・引付衆、さらに4～5人の引付奉行で構成され、従来は問注所が担っていた御家人を当事者とする訴訟を担当することとなった。引付訴訟の手順は、まず訴状が問注所に提出され、ついで引付に回されて担当の引付奉行が決定される。審理は最初に、三問三答とよばれ、3回にわたる訴状と陳状の提出を通じた書面による訴人(原告)と論人(被告)のやりとりがあり、ついで訴人と論人が引付の座に呼び出されて対決(口頭弁論)を行った。そして引付頭人・引付衆・引付奉行による評議によって判決の原案が作成され、評定沙汰(執権・連署・評定衆の合議)により正式な判決が下されて、判決文が勝訴人に下付された。

13世紀の後半になると訴訟担当機関決定の原理は、訴訟当事者の身分と居住地から訴訟内容へと変化する。訴訟は、所務沙汰・雑務沙汰・検断沙汰と3種に分類され、所務沙汰は引付が、雑

このように歴史文化情報センターでは、ご来館いただけても静岡県の歴史に関する情報を少しでも皆様に提供できるように、様々な資料を Web 上にアップしています。秋の夜長、お気に入りの俳優さんが演じた歴史上の人物を歴史資料で調べてみませんか? その人物の理解がぐっと深まることでしょう。

## 「しずおかの昔」を調べるなら 歴史文化情報センター

歴史文化情報センターは『静岡県史』が編さんされたときに収集された約16万点の資料を保管、整理、公開している部署です。研究者、学生、趣味で古文書を読まれている方、各種メディアなど様々な方々にご利用いただいています。「昔の文書なんて興味ない」と思っている方、歴史文化情報センターでは古文書ばかりを扱っているわけではありません。「しずおかの昔」を調べるなら「歴史文化情報センター」です。皆様のご利用をお待ちしています。



歴史文化情報センター  
ご利用案内



「しずおかの昔」を調べるなら  
静岡県立  
中央区書館  
歴史文化情報センター

# 静岡県の図書館 Snap Shot!

協力車で訪問した市町立図書館の様子をご紹介します。



2021.10.8 浜松市立舞阪図書館



2022.1.7 静岡市立中央図書館



2022.3.3 長泉町民図書館



2021.10.8 浜松市立細江図書館



2021.10.8 湖西市立新居図書館



2022.1.21 伊豆市立修善寺図書館

市町立図書館の振興のために、県立中央図書館は以下の事業を行っています。

- ▷ 協力車による運営相談や地域館・分館訪問を行い、図書館運営についてヒアリングや助言を行います。
- ▷ 各図書館の間で資料を貸し借り（相互貸借）する際の、情報と物流のネットワークを提供します。
- ▷ 各図書館で働く職員のスキルアップのため、公立図書館等職員研修を企画・運営します。
- ▷ 専門的な資料を収集し、市町立図書館の求めに応じて貸出（協力貸出）します。